

公明ひらつか

経済と連動した脱炭素社会の実現

鈴木 晴男 議員



市民館での接種を引き続き行う。

市長 交互接種の有効性と安全性の周知について伺う。

市長 国は、3回目接種を異なるワクチンで接種しても、副反応は安全性の面で許容されている。国から提供される情報を適宜ホームページなどに掲載するなど、引き続き情報提供に努めていく。

市長 脱炭素化を支援する新制度の対象を中小企業に特化した理由と、期待する効果を伺う。

市長 中小企業などでは知識や資金不足などにより脱炭素化が立ち遅れている傾向がある。今後は取引先の大企業から二酸化炭素排出削減が求められることが予想され、取引組みが進まない場合、取引先を失う可能性もあるため、いち早く脱炭素化に取り組んでもらおうと支援するものである。

市長 4年1月末時点で105社から125件の申請を受け、158名の正規雇用者を創出した。4年度は障がい者、氷河期世代、ひとり親家庭などに加え、65歳以上の高齢者も対象とした、就職困難者に特化した支援とし、補助対象期間を3か月間から6か月間へ拡大する予定である。

市長 今回の和解は裁判官からの勧めであり、本市の主張が認められた「実質的な勝訴」であると考え、和解に応じることとした。本市としては和解する意向は無かったため、和解条件の検討はしていなかったが、提出した証拠や双方の主張を踏まえて裁判官から提示を受けた200万円の解決金の額が本市の請求額の約9割であることから、「勝訴的和解」と捉えている。

市長 全ての業務で作業手順書などを作成しないのか。

市長 業務の必要性に応じてマニュアルを作成してお

り、事務の誤りなどがあつた場合には該当部分の更新などを行い、リスクの最小化に努めている。リスクを想定した適正な対策を検討し、見直しをしていくことで再発防止を図っていく。

市長 見附町6号線をバリアフリー基本構想の特定経路に追加しない理由を伺う。

市長 見附町6号線は、見附台周辺地区整備・管理運営事業におけるメイン動線の見附町7号線と比較して歩道幅員が狭いことから、特定経路としていない。

市長 3年度の新入院患者確保の取り組みを伺う。

市長 パラスポーツの体験会やトップレベルの競技観戦は、多様性を尊重しお互いを支えあうことの大切さを多くの市民に理解してもらい、心のバリアフリーを推進するために効果的である。

市長 4年1月までの実績は日値には至っていない。

市長 職員からも選ばれる病院になるための取り組みについて伺う。

市長 基本方針に「働きやすい職場をつくりたい」と定めており、環境整備に加え、病院が目指す方向性を示し、多くの職員の考えを拾い上げる経営を行っている。引き続き積極的に取り組んでいく。

市長 プライندサッカートーナメントの競技の誘致について伺う。

市長 全国的な学業・学習状況調査について、就学援助を受けている児童生徒の割合に関わらず、正答率が高い学校の子供たちを顕彰して、校の児童生徒の学業意欲を引き出す工夫の把握と水平展開について伺う。

市長 本市の分析でも「安心して学べる学級づくり」と「子どもたちが主体的に学ぶ授業」が大切であることが分かり、各学校の分析結果や取り組みとともに「学力・学習状況研究会」で共有することで、水平展開を図ってきた。

市長に問う

問 市長就任3期目の最後の年になるが、来年度はコロナ対応をはじめとしてどのように市政運営を行っていくのか。

市長 市民の生命・財産を守ることを最優先とし、感染症対策を講じる。また、地域経済の活性化、子育て支援、超高齢社会への対応、安心・安全に暮らせる施策の推進に加え、デジタル化や脱炭素化に取り組

デジタル化に向けて

問 本市におけるマイナンバーカードの取得件数と取得率を伺う。

市長 地区公民館などでの出張申請支援やスターライトマネーの追加付与など、カード取得促進に向けた取り組みを行った結果、2月20日現在で交付枚数は11万6689枚、交付率は45.5%となっている。

デジタル化に向けて

問 デジタル化に向けて、今後どう取り組むのか。

市長 市民の半数近くから、カードを利用したオンライン手続きを拡大するなどの取り組みを進める。健康保険証や運転免許証との一体化など、カードの機能は今後も高まるため、更なるカードの普及に積極的に取り組んでいく。

安心・安全

問 今後起こり得る南海トラフ地震への対策として、これまで実施した取り組みの成果と課題を伺う。

市長 市民の半数近くから、カードを利用したオンライン手続きを拡大するなどの取り組みを進める。健康保険証や運転免許証との一体化など、カードの機能は今後も高まるため、更なるカードの普及に積極的に取り組んでいく。

避難所対策

問 感染症対策に配慮した避難所運営にどう取り組んでいるのか。

市長 3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの基本的な対策や、消毒・換気などに各避難所が対応できるよう、避難所における感染症対策マニュアルを作成し、それに基づき研修会や訓練を行った。

ヤングケアラー

問 今年度の取り組みと、来年度の予定を伺う。

健康・こども部長 今年度は市ホームページにヤング

湘南海岸公園 龍城ヶ丘ゾーン 整備・管理運営事業

問 市独自で塩と風の調査を行っているが、住民への情報提供と結果の周知はどのように行うのか。

都市整備部長 本年2月から調査を開始し、市ホームページでお知らせしている。着工前に説明会を開催し、調査結果を市民に説明する予定である。

教育長に問う

問 全国的な学業・学習状況調査について、就学援助を受けている児童生徒の割合に関わらず、正答率が高い学校の子供たちを顕彰して、校の児童生徒の学業意欲を引き出す工夫の把握と水平展開について伺う。

教育長 本市の分析でも「安心して学べる学級づくり」と「子どもたちが主体的に学ぶ授業」が大切であることが分かり、各学校の分析結果や取り組みとともに「学力・学習状況研究会」で共有することで、水平展開を図ってきた。

インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載、ご覧いただけます。

請願・陳情を市議会へ

市民の皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。

湘南フォーラム

市民の生命と財産を守るには

府川 正明 議員